

iFreeNEXT FANG+ インデックス

運用報告書(全体版)

第2期

(決算日 2020年1月30日)

(作成対象期間 2019年1月31日～2020年1月30日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型		
信託期間	無期限		
運用方針	投資成果をNYSE FANG+ 指数(円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行いません。		
主要投資対象	ベビーファンド	FANG+インデックス・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券	
	FANG+インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。) 口. 米国株式の指数との連動をめざすETF(上場投資信託証券)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国上場企業の株式に投資し、NYSE FANG+ 指数(円ベース)の動きに連動した投資成果をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			NYSE FANG+ 指数 (円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2019年 1月30日)	9,077	0	△ 9.2	9,264	△ 7.4	97.6	1.8	0.5	1,210
2 期末 (2020年 1月30日)	12,860	0	41.7	13,215	42.6	94.8	4.9	0.3	1,644

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) NYSE FANG+ 指数 (円ベース) は、NYSE FANG+ 指数 (円ベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

NYSE® FANG+™ は、ICE Data Indices, LLC またはその関連会社（以下「ICE データ」）の登録商標であり、NYSE® FANG+™ 指数および NYSE® FANG+™ 指数 (円ベース)（以下「指数」）を利用するライセンスが FANG+ インデックス マザーファンド（以下「ファンド」）において、大和証券投資信託委託株式会社に付与されています。大和証券投資信託委託株式会社およびファンドは、ICE データによってスポンサー、販売、または販売促進されているものではなく、ICE データは、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追従することについて、いかなる表明保証を行うものでもありません。

ICE データおよびその第三者供給元は、明示または黙示の保証を行わず、インデックス、インデックスの値またはそれに含まれるすべてのデータに関して、商品性または特定の目的への適合性のすべての保証を明示的に否認します。ICE データは、たとえそのような損害の可能性について、特別、懲罰的損害、直接的、間接的、または結果的損害（利益の損失を含む）に対する責任は通知されていたとしても一切負いません。

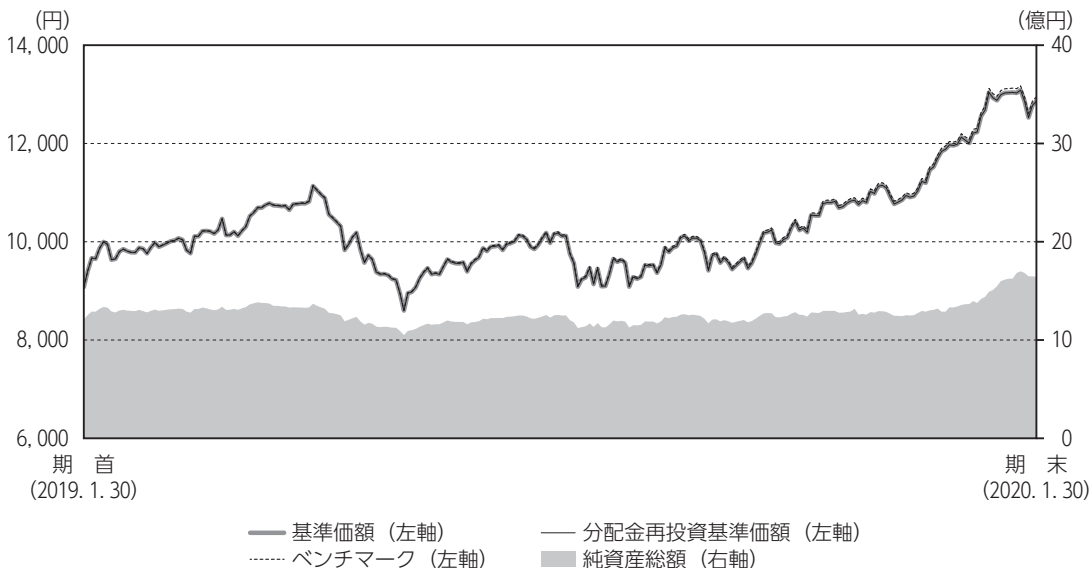
“NYSE® FANG+™” is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates (“ICE Data”) and has been licensed along with the NYSE® FANG+™ Index and NYSE® FANG+™ Index (JPY) (“Indexes”) for use by DAIWA ASSET MANAGEMENT in connection with FANG+ Index Mother Fund (the “Fund”). Neither DAIWA ASSET MANAGEMENT nor the Fund, as applicable, are sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data. ICE Data makes no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Fund particularly or the ability of the Indexes to track general stock market performance.

ICE DATA AND ITS RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS MAKE NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE WITH RESPECT TO THE INDEXES, INDEX VALUES OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. IN NO EVENT SHALL ICE DATA HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークは NYSE FANG+ 指数（円ベース）です。

基準価額・騰落率

期首：9,077円

期末：12,860円（分配金0円）

騰落率：41.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じてベンチマーク（NYSE FANG+ 指数（円ベース））の動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことや組み入れているハイテク銘柄の好調な業績を受けて、基準価額は上昇しました。

iFreeNEXT FANG+ インデックス

年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG+ 指数 (円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(ベンチマーク)	騰 落 率 %			
(期首)2019年 1月30日	9,077	—	9,264	—	97.6	1.8	0.5
1月末	9,408	3.6	9,604	3.7	97.6	1.8	0.5
2月末	9,933	9.4	10,141	9.5	98.0	1.8	0.1
3月末	10,220	12.6	10,439	12.7	97.8	1.7	0.4
4月末	10,962	20.8	11,200	20.9	97.4	1.4	0.1
5月末	9,220	1.6	9,421	1.7	98.0	1.8	0.2
6月末	9,623	6.0	9,840	6.2	98.3	1.4	0.3
7月末	10,112	11.4	10,347	11.7	97.4	2.2	0.5
8月末	9,521	4.9	9,745	5.2	98.4	1.4	0.2
9月末	9,571	5.4	9,804	5.8	99.3	0.4	0.3
10月末	10,276	13.2	10,536	13.7	97.6	2.1	0.1
11月末	11,148	22.8	11,434	23.4	98.5	1.1	0.3
12月末	12,065	32.9	12,387	33.7	93.6	3.5	0.1
(期末)2020年 1月30日	12,860	41.7	13,215	42.6	94.8	4.9	0.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 1. 31 ~ 2020. 1. 30)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中通商協議の進展期待などを好感して上昇基調となりました。2019年5月以降は、米中関係の緊張が続いたことや世界的な景気減速懸念などを嫌気し、下落しました。6月からは、世界的な金融緩和期待や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の後退を受け、上昇基調となりました。11月以降も、再度米中通商協議の進展期待が高まり、底堅い展開となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受けて世界的なリスク回避ムードとなったことから、下落しました。

■ 為替相場（米ドル/円）

為替相場はやや円高となりました。

当作成期首より、FRB（米国連邦準備制度理事会）が景気に配慮した金融政策を行うとの期待が市場で高まり、市場のリスク選好姿勢が回復したことなどが円安の材料となりました。2019年5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったこともあり、円高傾向となりました。9月以降は、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、円安傾向となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受けて世界的なリスク回避ムードとなったことを受け、円高となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+ インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■ FANG+ インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマーク（NYSE FANG+ 指数（円ベース））の動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2019. 1. 31 ~ 2020. 1. 30)

■ 当ファンド

「FANG+ インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、当作成期を通じておおむね100%程度に維持しました。

■ FANG+ インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、E T F（上場投資信託証券）および外国株式先物も一部利用し、株式組入比率（投資信託証券、株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

NYSE FANG+ 指数の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

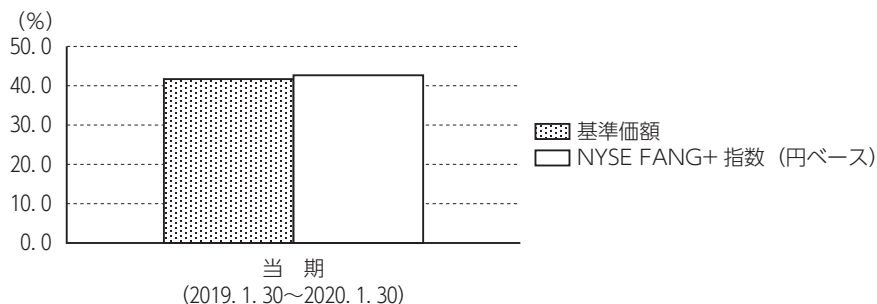
組入銘柄においては、サービス事業が目覚ましい成長を遂げ、ウェアラブル製品の売上げも好調なAPPLE INCや、2018年後半から売上げが落ち込んでいたデータセンター向けGPU（グラフィックス・プロセッシング・ユニット）が持ち直しているNVIDIA CORPなどの銘柄がプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は42.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は41.7%となりました。

マザーファンドの組入銘柄に配当金が計上されたのに対し、ベンチマークは配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。また、マザーファンドで組み入れているE T F（上場投資信託証券）の原資産がベンチマークと異なっていることや、マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、運用管理費用・マザーファンドにおける売買委託手数料や保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益の分配を行いませんでした。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年1月31日 ～2020年1月30日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,859

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「FANG+ インデックス・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

FANG+ インデックス・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 1. 31～2020. 1. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	79円	0. 766%	信託報酬＝当学期中の平均基準価額×信託報酬率 当学期中の平均基準価額は10, 302円です。
(投 信 会 社)	(40)	(0. 391)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0. 348)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 015	売買委託手数料＝当学期中の売買委託手数料／当学期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 009)	
(先物・オプション)	(1)	(0. 006)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 002	有価証券取引税＝当学期中の有価証券取引税／当学期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 002)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	3	0. 026	その他費用＝当学期中のその他費用／当学期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	83	0. 809	

(注 1) 当学期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

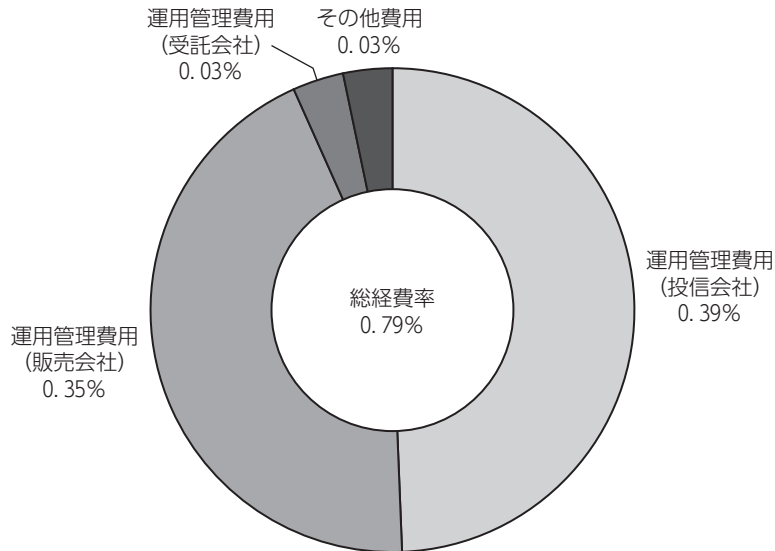
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当学期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.79%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年1月31日から2020年1月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数 千口	金 額 千円	□ 数 千口	金 額 千円
FANG+ インデックス・マザーファンド	412,378	483,920	477,725	521,360

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年1月31日から2020年1月30日まで)

項 目	当 期
	FANG+ インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,737,098千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,842,057千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.13

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
500	—	—	500	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数 千口	□ 数 千口	評 価 額 千円
FANG+ インデックス・マザーファンド	1,323,523	1,258,177	1,642,927

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額 千円	比 率 %
FANG+ インデックス・マザーファンド	1,642,927	94.9
コール・ローン等、その他	88,386	5.1
投資信託財産総額	1,731,313	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.01円です。

(注3) FANG+ インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,936,986千円）の投資信託財産総額（4,991,398千円）に対する比率は、98.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,731,313,823円
コール・ローン等	40,206,006
FANG+ インデックス・マザーファンド（評価額）	1,642,927,817
未収入金	48,180,000
(B) 負債	87,291,410
未払解約金	82,267,245
未払信託報酬	4,988,665
その他未払費用	35,500
(C) 純資産総額 (A - B)	1,644,022,413
元本	1,278,433,720
次期繰越損益金	365,588,693
(D) 受益権総口数	1,278,433,720口
1万口当り基準価額 (C / D)	12,860円

* 期首における元本額は1,333,594,681円、当作成期間中における追加設定元本額は697,960,117円、同解約元本額は753,121,078円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,860円です。

■損益の状況

当期 自 2019年1月31日 至 2020年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,142円
受取利息	749
支払利息	△ 2,891
(B) 有価証券売買損益	357,349,814
売買益	457,077,158
売買損	△ 99,727,344
(C) 信託報酬等	△ 9,817,006
(D) 当期損益金 (A + B + C)	347,530,666
(E) 前期繰越損益金	△ 113,748,730
(F) 追加信託差損益金	131,806,757
(配当等相当額)	(△ 1,837)
(売買損益相当額)	(131,808,594)
(G) 合計 (D + E + F)	365,588,693
次期繰越損益金 (G)	365,588,693
追加信託差損益金	131,806,757
(配当等相当額)	(△ 1,837)
(売買損益相当額)	(131,808,594)
分配準備積立金	233,784,078
繰越損益金	△ 2,142

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	233,784,078
(c) 収益調整金	131,808,594
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	365,592,672
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	365,592,672
(h) 受益権総口数	1,278,433,720口

FANG+ インデックス・マザーファンド

運用報告書 第2期（決算日 2020年1月30日）

（作成対象期間 2019年1月31日～2020年1月30日）

FANG+ インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	投資成果を NYSE FANG+ 指数（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行いません。
主要投資対象	イ．米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ロ．米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

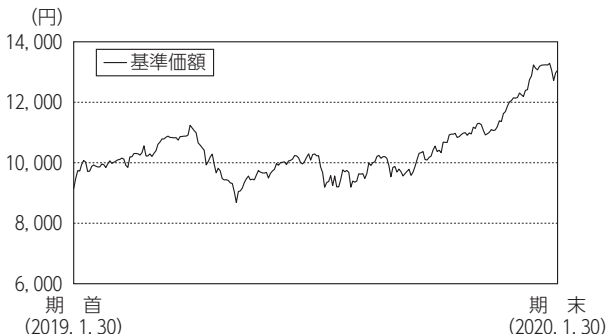
大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		NYSE FANG+ 指数 (円ベース)		株式組入率	株式先比率	投資信託受益証券組入比率
	騰落率	ベンチマーク	騰落率	ベンチマーク			
(期首) 2019年1月30日	9,145	—	9,264	—	97.7	1.8	0.5
1月末	9,479	3.7	9,604	3.7	97.6	1.8	0.5
2月末	10,014	9.5	10,141	9.5	98.0	1.8	0.1
3月末	10,309	12.7	10,439	12.7	97.8	1.7	0.4
4月末	11,064	21.0	11,200	20.9	97.4	1.4	0.1
5月末	9,313	1.8	9,421	1.7	98.0	1.8	0.2
6月末	9,726	6.4	9,840	6.2	98.3	1.4	0.3
7月末	10,227	11.8	10,347	11.7	97.4	2.2	0.5
8月末	9,636	5.4	9,745	5.2	98.4	1.4	0.2
9月末	9,692	6.0	9,804	5.8	99.3	0.4	0.3
10月末	10,413	13.9	10,536	13.7	97.6	2.1	0.1
11月末	11,304	23.6	11,434	23.4	98.6	1.1	0.3
12月末	12,242	33.9	12,387	33.7	93.6	3.5	0.1
(期末) 2020年1月30日	13,058	42.8	13,215	42.6	94.8	4.9	0.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) NYSE FANG+ 指数 (円ベース) は、NYSE FANG+ 指数 (円ベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,145円 期末：13,058円 騰落率：42.8%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマーク (NYSE FANG+ 指数 (円ベース)) の動きに連動させることをめざして運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことや組み入れているハイテク銘柄の好調な業績を受けて、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中通商協議の進展期待などを好感して上昇基調となりました。2019年5月以降は、米中関係の緊張が続いたことや世界的な景気減速懸念などを嫌気し、下落しました。6月からは、世界的な金融緩和期待や英国の合意なきEU (欧州連合) 離脱懸念の後退などを受け、上昇基調となりました。11月以降も、再度米中通商協議の進展期待が高まり、底堅い展開となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受けて世界的なリスク回避ムードとなったことから、下落しました。

○為替相場 (米ドル/円)

為替相場はやや円高となりました。

当作成期首より、FRB (米連邦準備制度理事会) が景気に配慮した金融政策を行うとの期待が市場で高まり、市場のリスク選好姿勢が回復したことなどが円安の材料となりました。2019年5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったこともあり、円高傾向となりました。9月以降は、米中通商交渉や英国のEU (欧州連合) 離脱交渉の進展期待が高まる中で、円安傾向となりました。2020年1月以降は、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受けて世界的なリスク回避ムードとなったことを受け、円高となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

米国株式を中心に、ETF (上場投資信託証券) および外国株式先物も一部利用し、株式組入比率 (投資信託証券、株価指数先物を含む) につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

NYSE FANG+ 指数の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

組入銘柄においては、サービス事業が目覚ましい成長を遂げ、ウエアラブル製品の売上げも好調なAPPLE INCや、2018年後半から売上げが落ち込んでいたデータセンター向けGPU (グラフィックス・プロセッシング・ユニット) が持ち直しているNVIDIA CORPなどの銘柄がプラスに寄りました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は42.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は42.8%となりました。

ファンドの組入銘柄に配当金が計上されたのに対し、ベンチマークは配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。また、組み入れているETF (上場投資信託証券) の原資産がベンチマークと異なっていることや、ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異が、かい離要因となりました。その他、売買委託手数料・保管費用等のコスト負担がかい離要因としてあげられます。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託受益証券)	1円 (1) (0) (0)
有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合 計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2019年1月31日から2020年1月30日まで)

外 国	アメリカ	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		百株 1,386.16 ()	千アメリカ・ドル 14,364 ()	百株 3,528.18	千アメリカ・ドル 56,382

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2019年1月31日から2020年1月30日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
BAIDU INC - SPON ADR (ケイマン諸島)	千株 28.459	千円 378,158	円 13,287	TESLA INC (アメリカ)	千株 19.246	千円 806,280	円 41,893
TESLA INC (アメリカ)	11.283	308,414	27,334	NVIDIA CORP (アメリカ)	31.507	732,123	23,236
TWITTER INC (アメリカ)	80.428	285,796	3,553	APPLE INC (アメリカ)	24.293	670,434	27,597
NETFLIX INC (アメリカ)	5.978	175,382	29,337	NETFLIX INC (アメリカ)	17.224	641,992	37,273
AMAZON.COM INC (アメリカ)	0.77	150,195	195,058	TWITTER INC (アメリカ)	164.781	633,162	3,842
NVIDIA CORP (アメリカ)	4.348	71,011	16,332	FACEBOOK INC-CLASS A (アメリカ)	29.418	621,628	21,130
FACEBOOK INC-CLASS A (アメリカ)	3.283	69,105	21,049	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR (ケイマン諸島)	26.995	582,459	21,576
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	0.431	55,648	129,114	AMAZON.COM INC (アメリカ)	2.668	537,108	201,314
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR (ケイマン諸島)	2.74	49,096	17,918	BAIDU INC - SPON ADR (ケイマン諸島)	33.469	482,435	14,414
APPLE INC (アメリカ)	0.896	19,259	21,494	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	3.217	467,403	145,291

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2019年1月31日から2020年1月30日まで)

外 国	アメリカ	買 付		売 付	
		千口 14.34 ()	千アメリカ・ドル 3,033 ()	千口 15.61 ()	千アメリカ・ドル 3,268 ()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2019年1月31日から2020年1月30日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額 百万円 3,095	決 済 額 百万円 3,026	新規売付額 百万円 —	決 済 額 百万円 —
外国 株式先物取引				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2019年1月31日から2020年1月30日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
VANGUARD INFO TECH ETF (アメリカ)	14.34	331,337	23,105	VANGUARD INFO TECH ETF (アメリカ)	15.61	357,366	22,893

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	株 数	株 数	評 価 額		業 種 等	
			期 末			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
APPLE INC	374.86	140.89	4,569	498,134	情報技術	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	428.05	185.5	3,932	428,733	一般消費財・サービス	
BAIDU INC - SPON ADR	358.92	308.82	3,905	425,754	コミュニケーション・サービス	
AMAZON.COM INC	41.02	22.04	4,095	446,399	一般消費財・サービス	
ALPHABET INC-CL A	57	29.14	4,244	462,728	コミュニケーション・サービス	
FACEBOOK INC-CLASS A	452.2	190.85	4,260	464,420	コミュニケーション・サービス	
TESLA INC	176.7	97.07	5,639	614,780	一般消費財・サービス	
TWITTER INC	2,068.91	1,225.38	4,120	449,225	コミュニケーション・サービス	
NVIDIA CORP	436.07	164.48	4,038	440,252	情報技術	
NETFLIX INC	229.32	116.86	4,010	437,148	コミュニケーション・サービス	
ファンド合計	株数、金額	4,623.05	2,481.03	42,817	4,667,576	
	銘柄数<比率>	10銘柄	10銘柄		<94.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託受益証券

銘 柄	口 数	口 数	評 価 額		
			期 末		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
VANGUARD INFO TECH ETF	1.86	0.59	152	16,666	
合計	口数、金額	1.86	0.59	152	16,666
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<0.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
	百万円	百万円
外国 NYSE FANG+ IDX FU (アメリカ)	239	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

FANG+ インデックス・マザーファンド

■投資信託財産の構成

2020年1月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	4,667,576	93.5
投資信託受益証券	16,666	0.3
コール・ローン等、その他	307,154	6.2
投資信託財産総額	4,991,398	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.01円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,936,986千円)の投資信託財産総額(4,991,398千円)に対する比率は、98.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,192,984,806円
コール・ローン等	69,319,775
株式(評価額)	4,667,576,739
投資信託受益証券(評価額)	16,666,822
未収入金	380,198,434
差入委託証拠金	59,223,036
(B) 負債	270,382,992
未払金	203,962,992
未払解約金	66,420,000
(C) 純資産総額(A-B)	4,922,601,814
元本	3,769,869,667
次期繰越損益金	1,152,732,147
(D) 受益権総口数	3,769,869,667口
1万口当り基準価額(C/D)	13,058円

* 期首における元本額は7,681,155,950円、当作成期間中における追加設定元本額は809,900,944円、同解約元本額は4,721,187,227円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、iFreeNEXT FANG+ インデックス1,258,177,223円、FANG+ インデックス・オープン2,511,692,444円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,058円です。

■損益の状況

当期 自 2019年1月31日 至 2020年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	14,005,129円
受取配当金	12,281,431
受取利息	885,922
その他収益金	864,556
支払利息	△ 26,780
(B) 有価証券売買損益	2,426,777,917
売買益	2,602,881,673
売買損	△ 176,103,756
(C) 先物取引等損益	43,060,095
取引益	64,192,174
取引損	△ 21,132,079
(D) その他費用	△ 1,337,727
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	2,482,505,414
(F) 前期繰越損益金	△ 657,039,550
(G) 解約差損益金	△ 738,682,773
(H) 追加信託差損益金	65,949,056
(I) 合計(E+F+G+H)	1,152,732,147
次期繰越損益金(I)	1,152,732,147

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

NYSE® FANG+™ は、ICE Data Indices, LLC またはその関連会社（以下「ICE データ」）の登録商標であり、NYSE® FANG+™ 指数および NYSE® FANG+™ 指数（円ベース）（以下「指数」）を利用するライセンスが FANG+ インデックスマザーファンド（以下「ファンド」）において、大和証券投資信託委託株式会社に付与されています。大和証券投資信託委託株式会社およびファンドは、ICE データによってスポンサー、販売、または販売促進されているものではなく、ICE データは、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追従することについて、いかなる表明保証を行うものではありません。

ICE データおよびその第三者供給元は、明示または黙示の保証を行わず、インデックス、インデックスの値またはそれに含まれるすべてのデータに関して、商品性または特定の目的への適合性のすべての保証を明示的に否認します。ICE データは、たとえそのような損害の可能性について、特別、懲罰的損害、直接的、間接的、または結果的損害（利益の損失を含む）に対する責任は通知されていたとしても一切負いません。

“NYSE® FANG+™” is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates (“ICE Data”) and has been licensed along with the NYSE® FANG+™ Index and NYSE® FANG+™ Index (JPY) (“Indexes”) for use by DAIWA ASSET MANAGEMENT in connection with FANG+ Index Mother Fund (the “Fund”). Neither DAIWA ASSET MANAGEMENT nor the Fund, as applicable, are sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data. ICE Data makes no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Fund particularly or the ability of the Indexes to track general stock market performance.

ICE DATA AND ITS RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS MAKE NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE WITH RESPECT TO THE INDEXES, INDEX VALUES OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. IN NO EVENT SHALL ICE DATA HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.